教員養成の目標とそのための計画

○四天王寺大学

１．教員養成の目標

本学は聖徳太子が敬田院を設立された精神、すなわち宗教的情操教育によって人格の陶冶を図り、広範にして深い知識と高い技術・技能を教授することによって人格の形成に資することを目的として、設置以来社会に有為な人材の育成に努めている。従って、教員養成に対する理念は、この建学の精神に基づいて、地域社会の学術・教育・文化・福祉などの振興と発展に寄与することである。

今後ますます求められる国際社会における基本的資質能力と国際感覚を養い、近年の急激に変化発展する社会に適応する知識と技術力を修得し、教員として直面する新たな事態に対処できる能力ある教員養成を目指す。

２．上記の目標を達成するための計画

それぞれの免許状とも、まず本学の建学の精神である宗教的情操教育と人権に関する教育を行い、人格の陶冶を図る「教養教育科目（こころの思想）※1 」「基礎教育科目※2 」の履修が必要となる。この履修により、子どもたちの生命と心を護り、愛情をもって教育できる人間性豊かな教師の育成を目指している。

第二に、「日本国憲法」「スポーツⅠ・Ⅱ」「英語Ⅰ・Ⅱ」「情報処理演習」などの「教養教育科目※1 」「共通教育科目※2」の履修により、教員として必要となる科学的な観察力と判断力、国際的な感覚を身につける。子どもや保護者から信頼され、教養豊かな教師の育成が目指される。

第三に、各免許状の取得に必要な「専門教育科目」において高度な学識と豊かな知識を養うことを目的とした多くの科目を配している。このうち、「教職に関する科目」では、免許状の種類により「教職論」「教育原論」「教育心理学」「教育制度論」で教育の原点を学び、教員の役割を理解する。加えて、「生徒指導論」などにより幼児・児童・生徒への心のケアや指導方法、「各教科教育法」により高い教材研究能力をそれぞれ身につけることを目指している。「教科に関する科目」では、専門的な知識や技能を身につけることを目指している。

※１　令和７年度入学生

※２　令和６年度入学生

＜教育学部教育学科＞

【小学校教諭一種免許状】

社会の急激な変化の中で、子どもを取り巻く多様な現代的課題に幅広い視野をもって対峙し、児童・生徒一人ひとりに適した学びと協働的な学びの在り方を考え、「いい先生」とは何かを追求し続けられる小学校教員の養成をめざしている。そのために、各セメスターにおいて地域社会や学校等での協働の力を高める科目を履修し、多様な子ども理解やケアの在り方を学び深めることを求める。そして、大学での学びと継続的な教育現場での経験を連動させながら、小学校教員としての豊かな人間性と深い専門性、省察と研鑽に支えられた実践力を身につける必要がある。また、学びの過程において、活動や実践を振り返り、社会や自らの課題に気づき、それらに向き合う姿勢も求められる。

【特別支援学校教諭一種免許状】

少子化により義務教育段階の児童生徒数が減少する一方で、特別支援教育を受ける児童生徒数は増加を続け、特別支援学校在籍児童生徒数は直近 10 年で 1.2 倍に増えている。特別支援学校では、知的障がい、肢体不自由、病弱・身体虚弱、視覚障がい、聴覚障がい等の障がい者、複数の障がいを合わせ有する重複障がい者のほか、近年では自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症等を併存する軽度知的障がい者も増加し、在籍児童生徒の障がいの種類・程度は多様化している。他方、特別支援学校教諭免許状を保有する教員が不足している。本選修では、大学での学びと特別支援学校での学びを関連付けながら、各種障がいについての理解と共に、障がいのある子どもたちが抱える困難について理解し、一人ひとりのニーズに応える適切な支援と指導ができる教員の養成をめざす。

【幼稚園教諭一種免許状】

急速な少子化が進み、家庭・地域を取り巻く状況の変化が幼児の体験不足が一層懸念されている。また、幼稚園やこども園など多様な幼児施設への対応、気になる子どもや多文化の共生を視野に含め、幼児期の特性を踏まえた教育の充実、小学校以降の学びへの接続など、質の高い幼児教育を推進する力が求められる。

保育の本質である『遊びからの学び』『環境を通して行う教育』を実践する専門的知識を有し、豊かな人間性をもった幼稚園教員の育成をめざしている。

「幼児理解（教育相談を含む）」や「幼児教育課程総論」、健康、人間関係、環境、言葉、表現の各領域の「保育内容の理論と方法」等の科目の履修を通して、教育・保育現場で求められている様々なニーズに応えることができる高い専門性と実践力を身に付けることをめざしている。

【中学校・高等学校教諭（英語）】

変化の激しいグローバル社会において、自ら問いをたてて探究し、学び続ける教員が求められる。小中連携の英語教育や中学校・高等学校における英語教育を担当するために、豊かな人間性と英語力、および授業実践力を備え、学校現場でリーダー的役割を果たせる教員の養成を目指している。そのため、「英語音声学」「英語学特論」や「中等英語科教育法Ⅰ～Ⅳ」において、模擬授業等の演習方式で、英語の仕組みや英語教授法を学ぶ。そして、「ベーシックコミュニケーション」「アドバンストコミュニケーション」の履修により英語によるコミュニケーション能力やアカデミックライティングの力を高める。さらに「Cross-culturalCommunication 」「Academic Presentation 」では、異文化間理解・多文化共生について議論し、協働的課題解決ができる英語教諭としての高い能力を身につける。

【中学校・高等学校教諭（数学）】

AI 化やその他絶え間ない技術革新等により急速に変化する社会の中で、数学は現代社会を読み解くために不可欠な基盤となっている。教育においても、数学的に考え課題解決する力の育成、科学を記述する言語としての数学の理解がますます重要性を増している。このような中、小学校から大学初年級までの数学教育について一貫した視点を持ち、多様な子どもの違いを生かした数学的活動や授業を通して、算数・数学を学ぶ意義や有用性を子どもたちに広く深く実感させることができる教員の養成をめざしている。

「代数学」「幾何学」「解析学」「確率・統計学」などの科目により教科内容についての理解を深め、「中等数学科教育法」において教育方法の理論と実践を学ぶ。加えて、子どもの算数・数学概念の獲得のしかたを理解し、子どもの発想や疑問、想いも大切にできるようにするための「子どもの発達と算数・数学」、数学が実社会で果たす役割を理解し、課題解決する力を身につけるための「数学的リテラシー」などの科目により、数学教諭としての高い能力と実践力を身につけることをめざしている。

【中学校・高等学校教諭一種免許状（理科）】

社会情勢の変化に伴い学習方法の多様化や、児童生徒の個性化・多様化が進み、教育環境も大きく変化してきた。教育の様々な課題を主体的に捉え、対処するための科学的な知見を養うことが重要である。理科選修では、科学の幅広い知識を身につけ、学校現場や社会で活躍する使命感と下記のような実践的能力を備えた教員の養成をめざしている。そのためには、身の回りの自然の不思議さ・科学技術のすばらしさに触れ、科学の楽しさ・面白さを知り、児童生徒に「科学の大切さ」を伝えるための専門性を身につけることが必要である。

1. 小学校にて理科の専門性を発揮できる教員
2. 持続可能な開発目標（SDGs）の教育諸問題に対応できる学び続ける教員
3. 小学校をはじめとして、中学校・高等学校での探究的な学習を推進する教員

【養護教諭一種免許状】

養護教諭は、児童生徒の健康管理、健康相談、保健教育などの学校保健活動を行う専門家である。近年、児童生徒を取り巻く社会環境の変化に伴い、児童生徒の健康問題が深刻かつ複雑化し、心身の成長・発達への課題も多岐にわたっている。また医療的ケアが必要な児童生徒数、発達障害・学習や生活の面で特別な教育的支援を必要とする児童生徒数は増加しており、これらの児童が抱えている心身の問題や親子関係・友人関係等の解決にむけて、保健医療福祉の関係機関との連携・協働が求められている。教育学部教育学科では、児童生徒一人一人を見つめ、小さな変化を感じ取り SOS に気づける力、校内外をつなぐコーディネーターの役割を担える力、児童生徒の命と未来を護る力を有する養護教諭の養成を目指している。

＜文学部日本学科＞

【中学校・高等学校教諭一種免許状（国語）】

「読む・書く・聞く・話す」という「国語」の 4 技能にわたる高いコミュニケーション能力を有し、自己と他者の間の相互理解を実現することができる教員、日本文化全般にわたる幅広い知識に基づき「国語」の教育を行うことができる教員の養成を目指している。

「日本語学」「日本語文法」「講読（日本語学）」などの科目により日本語学を学び、「日本文学論」「日本文学史」「古典Ⅰ（日本）」「古典Ⅱ（中国）」などの科目により日本文化全般にわたる文学的知識を学ぶこととなる。そして、「国語教材研究論」などの科目により教育技術・教材研究の能力を高めることとなる。

【高等学校教諭一種免許状（書道）】

高い実技能力と実技指導能力を持ち、書道史・書論・鑑賞法について総合的な知識を身につけた教員の養成を目指している。

「書道史」「書論・鑑賞」「日本文学論」「日本文学史」「古典Ⅰ（日本）」「古典Ⅱ（中国）」などの科目により日本文学・日本語学・日本史・日本文化についてバランスよく習得し、書写を含む「書道」の科目を重点的に学ぶことで実技力と実技指導能力を高めていくこととなる。

＜文学部国際コミュニケーション学科＞

【中学校・高等学校教諭一種免許状（英語）】

高度な英語教育の専門的理論を学び、英語文化・語学の研究だけでなく、人間としての総合的な判断能力を培い、国際社会に役立つバランス能力を備えた教員の育成を目指している。

英語のコミュニケーション能力を高めるために、「ベーシックコミュニケーション」「Oral Communication」「アドバンストコミュニケーション」「Academic Communication」などの履修をすることになる。また、「英語学概説」「英語学」「英語音声学」「英文法」などの科目を通じて、英語学の知識を身につけ、「英語文学概説」「Reading（ Literature ）」などの科目を通じて、英語文学の知識を身につけることになる。加えて、「英語圏文化概説」「Reading（ Culture ）」などの科目を通じて、異文化についての理解も深めていくことを目指している。

＜社会学部社会学科＞

【中学校教諭一種免許状（社会）】

中学校社会科では、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することが求められる。日本と外国の地理や歴史、現代社会の様々な制度や仕組みについて理解する授業や、様々な社会的事象に関心を持ち、それらを多面的・多角的に考察する授業を設計し、実践できる教員の養成を目指している。

「日本史」「西洋史」「アジア史」「中国史」をバランスよく履修することで、日本と外国の歴史を関係づけて学ぶ。また、「人文地理学」「自然地理学」「地誌」の科目を履修することで、地理学について学ぶ。そして、「法学」「社会学理論」「経済学」「哲学概論」「ジェンダー論」「社会調査法」などの科目を履修することで、社会の中の幅広い対象について学ぶ。これらの科目で学んだことをベースにして、「社会教科教育法」などの科目により、教材研究の能力を高めることを目指している。

【高等学校教諭一種免許状（地理歴史）】

高等学校地理歴史科では、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することが求められる。現代社会を取り巻く様々な問題に対して、地理的・歴史的な見方・考え方に基づいて多面的・多角的に考察する授業を設計し、実践できる教員の養成を目指している。

「日本史」「西洋史」「アジア史」「中国史」などの科目を履修することで、各国の成り立ちや過去の様々な状況における人々の多様な営みと思惟について学ぶ。また、「人文地理学」「自然地理学」「地誌」などの科目を履修することで、日本をはじめとする世界各地の人々の暮らしや自然環境につい

て学ぶ。これらの科目で学んだことをベースにして、「地理歴史教科教育法」などの科目により、教材研究の能力を高めることを目指している。

【高等学校教諭一種免許状（公民）】

高等学校公民科では、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民、特に主権者としての資質・能力を育成することが求められる。現代社会を取り巻く様々な問題に対して、国際的な視野を持って多面的・多角的に考察し、公正に判断し、より良い社会を構想する授業や、人間としてのあり方や生き方についての自覚を深める授業を設計し、実践できる教員の養成を目指している。

「法学」「社会学理論」「経済学」「社会心理学」「哲学概論」「ジェンダー論」「産業社会学」「家族社会学」などの科目を履修することで、幅広く現代社会について学ぶ。これらの科目で学んだことをベースにして、「公民教科教育法」などの科目により、教材研究の能力を高めることを目指している。

＜社会学部人間福祉学科＞

【高等学校教諭一種免許状（公民）】

高齢化社会を迎え、福祉への関心やニーズが高まるなか、社会では知識や技術に加え、一人ひとりの気持ちに寄り添った対応ができる能力が求められる。このような能力を持ち、倫理、文化、政治、経済などの観点から思考できる教員の養成を目指している。

「法学」「政治学」「社会学と社会システム」「経済学入門」「心理学と心理的支援」などの様々な科目の履修により、多様な観点を身につけ、「地域福祉と包括的支援体制」、「社会保障」、「貧困に対する支援」などの関連科目により福祉に関する知識や技術を身につけることを目指す。そして「臨床心理学」「カウンセリング理論」などの科目の履修により心の面についても学ぶこととなる。

【高等学校教諭一種免許状（福祉）】

日本社会が福祉社会であるためには、社会福祉が国民のものでなければならない。そのためには、国民が社会福祉を理解し、日本全国に福祉風土を醸成する必要がある。そして、現在では福祉ニーズが拡大・多様化・高度化している。これらに対応できる総合的な社会福祉の実現に向けた幅広い知識、および主体的に考え、公正に判断でき、実践できる力を備えた指導力のある教員の養成を目指している。

「社会福祉の原理と政策」、「社会保障」などの科目により社会福祉学を、「高齢者福祉」、「児童・家庭福祉」、「障害者福祉」などの関連科目により高齢者・児童・障害者の福祉について学ぶこととなる。また、「ソーシャルワークの理論と方法」、「ソーシャルワーク演習」、「介護福祉」、「介護演習」、

「ソーシャルワーク実習指導」などの科目の履修により、社会福祉の理論と実践力を講義、演習、実習を通して学び、身につけることを目指している。

＜看護学部看護学科＞

【養護教諭一種免許状】

　養護教諭は、児童生徒の保健管理、健康相談、保健教育などの学校保健活動を行う専門家である。近年、児童生徒を取り巻く社会環境の変化に伴い、児童生徒の健康問題が深刻かつ複雑化し、心身の成長・発達への課題も多岐にわたっている。また医療的ケアが必要な児童生徒数、発達障害・学習や生活の面で特別な教育的支援を必要とする児童生徒数は増加しており、これらの児童が抱えている心身の問題や親子関係・友人関係等の解決にむけて、保健医療福祉の関係機関との連携・協働が求められている。看護学部看護学科では、看護師資格をもち、教育現場で活躍できる養護教諭の養成を目指している。

＜文学部・社会学部及び看護学部における「教職に関する科目」＞

　「教職に関する科目」では、各学校種・教科の教員に応じて「教職論」「教育原論」「教育心理学」「教育制度論」で教育の原点を学び、教員の役割を理解する。加えて、「生徒指導論」などにより児童生徒への心のケアや指導方法、「各教科教育法」により高い教材研究能力をそれぞれ身につける。

〇四天王寺大学短期大学部

１．教員養成の目標

本学は聖徳太子が敬田院を設立された精神、すなわち宗教的情操教育によって人格の陶冶を図り、広範にして深い知識と高い技術・技能を教授することによって人格の形成に資することを目的として、設置以来社会に有為な人材の育成に努めている。従って、教員養成に対する理念は、この建学の精神に基づいて、地域社会の学術・教育・文化・福祉などの振興と発展に寄与することである。

今後ますます求められる国際社会における基本的資質能力と国際感覚を養い、近年の急激に変化発展する社会に適応する知識と技術力を修得し、教員として直面する新たな事態に対処できる能力ある教員養成を目指す。

２．上記の目標を達成するための計画

〈保育科〉

［幼稚園教諭 2 種免許状］

少子高齢化や女性の雇用促進などの社会環境の変化に伴い、集団保育施設の役割が急速に高まっています。このような社会的背景の中で、保育科では幼稚園教諭 2 種免許状と共に保育士の資格の取得が可能であり、仏教精神を基本とした幼稚園教諭の養成を行い、以下に示すような保育者の養成を目指します。

1．受容性と共感性を備え、乳幼児の成長発達への援助ができる保育者

2．専門的な観点から保護者の育児力に対して支援できる保育者

3．5 領域にわたる実践技能を備えた保育者

以上のような幼稚園教諭を育成するために、保育科では全学共通の「教養教育科目※1 」「基礎教育科目※2」「共通教育科目※2」 で学んだことを基礎にして、「専門教育科目」において多様な科目を学ぶことになります。「保育者論」「教育原理（制度的事項等を含む）」「幼児教育課程総論」などの教職に関する科目により保育者としての知見や学識を身につけ、6 つの保育内容により実践的な技能を修得します。また、教科に関する「音楽」、「図画工作」、「小児体育」 などの科目により表現や健康に関する専門的知識を身につけます。

※ 1　令和 7 年度入学生

※ 2　令和 6 年度入学生